

# 効果的な感染症対策の在り方

# 魚病の効果的な対策の在り方について

## (令和3年「規制改革実施計画」実施項目 b)

- ・感染症のように一気に広まり被害が大きくなる魚病について、例えば、養殖密度の適正化、ワクチン接種の推進等の効果的な対策の在り方を、その費用負担の在り方を含め、引き続き、魚病対策促進協議会にて検討する。

### 【第7回協議会におけるご意見】

- ・ 魚病はその年で変わるので、その年に合った防疫措置が必要になることから、複数の防疫措置を組み合わせた感染症対策を進めることでよい。
- ・ 何か重点化したりすることはできず、いろいろな手を打ちながら複数の防疫措置を組み合わせ対応することが一番良い。
- ・ どの魚病が発生するか予想できず、新たな感染症の発生もあるため、複数の対策を組み合わせながら対応し、魚病発生に備え、研究を推進していく必要がある。
- ・ 複数の防疫措置を組み合わせた防疫対策のモデルを構築する事業で、全国の養殖生産地のお手本になるプログラムを組んで欲しい。
- ・ 少しずつでも、種苗あるいは製品サイズの流通経路を調べていくべき。

### 【取りまとめ案】

- ・ 疾病の発生状況や被害率等に留意しつつ、複数の防疫措置を組み合わせ感染対策を最適化することが適当（令和2年度の協議会での結論と同じ）。
- ・ このような取組が進むよう、国においては、協議会等の意見も参考にして、効果的な施策を具体化すべき。

# 費用負担の在り方について

## (令和3年「規制改革実施計画」実施項目 b)

- ・感染症のように一気に広まり被害が大きくなる魚病について、例えば、養殖密度の適正化、ワクチン接種の推進等の効果的な対策の在り方を、その費用負担の在り方を含め、引き続き、魚病対策促進協議会にて検討する。

### 【第7回協議会におけるご意見】

- ・ 養殖業者が自己負担するのは当たり前。
- ・ 受益者負担で行うべき。
- ・ まん延している病気等の通常の病気に公的資金を入れるというのいかなものか。
- ・ 効くワクチンは養殖業者が自ら打つ。国には、養殖業者がやれないところ、具体的にはワクチン開発をしっかりしてほしい。
- ・ 限られた人員を生かして最短の年数で医薬品を開発するために、国からの支援が必要。
- ・ 新しい医薬品の実験支援を行う方向は、今後とも堅持してほしい。
- ・ 病気が人の健康に影響を与える、その病気を撲滅しないと養殖が成り立たなくなるなど、特殊なケースであれば、公的な負担を考えてもよいのではないか。

### 【取りまとめ案】

- ・ 魚病対策の費用は、養殖業者による自己負担が基本。
- ・ 国は、
  - ① ワクチンなど医薬品の実験支援
  - ② 人の健康や養殖業ができなくなる等の養殖業に重大な影響を及ぼす事態への対応等、公益性の高い分野への支援を担うべき。